

熊本県立大学

授業公開講座

受講生募集

募集
期間

2024.

2/1

木

▶

2/22

木



令和6年度
(2024年度)
《前期・通年》

募集要項

【募集期間】 2024年2月1日(木)～2月22日(木)

※インターネットよりお申込みの場合 : 2月22日13時締切

※郵送または持参にてお申込みの場合 : 2月22日13時必着

講座毎に受講要件が異なりますので、講座概要(8ページ～)を必ずお読みいただき、お申し込みください。

受講資格

満18歳以上の方(2024年4月1日時点)

開講講座・日時

「講座一覧」(6ページ～)を参照してください。令和6年度(2024年度)前期は2024年7月29日(月)まで、通年は2025年2月3日(月)まで授業が行われます。(最終授業日は、各講座の曜日で異なります。)カリキュラムの都合上、曜日・時限・教室が変更になる場合があります。講座の内容についてのお問い合わせはお受けしていませんので、このパンフレットにてご確認をお願いします。

募集人数

講座毎に定員がありますので、「講座一覧」(6ページ～)をご確認ください。

申込方法

申込方法について(4ページ)をご確認ください。

受講者選考

「抽選」による場合と「理由書」による場合があります。「講座一覧」(6ページ～)および「講座概要」(8ページ～)に選考方法が記載してありますので、ご確認の上お申し込みください。

「抽選」の講座については、応募者多数の場合は厳正なる抽選により受講者を決定いたします。「理由書」の場合は、担当教員が理由書に基づき選考を行います。

なお、選考方法が「理由書」の講座を希望し、インターネットよりお申込みの場合は、お申込み後にお送りする受付完了メールを確認していただき、「理由書」を添付して返信してください。(Word、Excel等様式は問いませんが、氏名・講座名を必ず明記してください)「理由書」の提出をもって、正式な受付完了扱いとなりますので、ご注意ください。郵送または持参にてお申込みの場合は、パンフレット添付の申込書(17ページ)に記入してください。枠内に収まらない場合は、別紙(様式任意)に記入し、申込書に添付してください。

結果の通知

3月上旬頃、申込者全員に選考結果を郵送によりお知らせします。

受講料（1 講座につき）

	週 1 回	週 2 回
前期	5,000 円	10,000 円
通年	10,000 円	20,000 円

本学にて開催する受講手続・説明会にご参加いただき、現金で受講料をお支払いいただきます（下記参照）。お支払いいただいた受講料は返金できませんので、ご了承ください。（本学都合の場合は除く）

また、受講料の領収書の宛名は申込者ご本人となります。

受講手続・説明会

・3月27日（水）① 10:30 ② 14:30

・3月28日（木）① 10:30 ② 14:30

上記のいずれかの日程に必ずご参加ください。

受講に係る注意点などの説明のあと、受講料をお支払いいただき、受講票等をお渡しいたします。

受講にあたっての注意事項

1. 講座について

公開講座は、本来学生のための授業です。受講者に合わせた内容ではありません。

- ・講座での教員への質疑応答は、学生を優先します。
- ・講座中は教員の指示に従ってください。
- ・講座時間外での質問等には応じられません。
- ・受講者への「学力評価（試験）」及び「単位の認定」は行いません。

2. 受講について

- ・お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。
- ・同伴や見学は、お断りします。
- ・施設内は禁煙です。
- ・貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

※ご注意 【オンラインツールの利用について】

授業公開講座は対面の講座ではありますが、お申し込みいただく講座によっては、ご自身のパソコンやスマートフォンを使い、オンラインツールを利用して受講いただく場合があります。講座概要（8ページ〜）に利用するオンラインツールを記載していますので、ご自身で基本的な操作ができることをご確認の上、お申し込みください。なお、受講中の操作方法についてのサポート対応、機器の貸出はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

[利用予定のオンラインツール例]

Eメール：ご自身が普段使用しておられるEメールアドレスを利用し、講師と直接やり取りしていただきます。

Microsoft Teams：本学が発行するMicrosoftアカウントで、動画視聴・資料閲覧、課題提出等を行うことができるアプリです。

利用できる端末は、windows8.1以降、OS X 10.11以降となりますので、ご自身でお使いの端末をご確認ください。

3. 欠席について

授業を欠席する場合、教員及び地域・研究連携センターへの連絡は不要です。

4. 休講・補講について

自然災害や教員のやむを得ない事情により、講座の休講、補講を行う場合があります。

休講、補講、教室変更については、[Webサイト「地域ラブラトリー」](#)→MENU→講座・学び→定期講座のページでお知らせいたします。原則、個別に連絡はしませんので、講座の前には必ず確認して来学してください。

なお、緊急の場合はできる限り電話等によりお知らせいたしますが、ご連絡できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

5. テキスト代等その他の費用について

受講者が講座で使用するテキストの代金及び講座に係るその他の費用は、受講者負担となります。

6. 講座の中止について

学生の受講が少ないなどの理由により受講決定後に開講中止となる場合があります。

その場合は、お支払いいただいた受講料は返金いたします。

7. 受講の停止について

受講者による本学内での迷惑行為（妨害、大声、付きまとい、暴力など）が生じ、講座運営に支障をきたす等、大学の秩序を乱したと本学が判断した場合は、講座開始後であってもすべての授業公開講座の受講を停止させていただきます。なお、この場合、お支払いいただいた受講料は返金できません。またその後、本学の講座は受講できなくなります。

8. 損害賠償について

本学の施設、設備等を破損したときは、速やかに届け出てください。その損害を弁償していただくことがあります。

9. 個人情報について

お申し込みの際にご提供いただいた個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律に基づいて適正に管理を行います。また、個人情報保護の観点から、他の受講者、教員、本学学生に関する連絡先等をお知らせできません。

10. 通学方法について

本学では、自家用車での入構規制を行っております。可能な限り公共交通機関をご利用ください。ただし、特段の理由によって自家用車を利用しなければならない方や、片道5 km以上の場合は、駐車許可をしています。駐車には必ず「許可証」が必要ですので、受講手続きの際に申請してください。

11. 学内施設の利用について

受講者は、図書館及び売店や食堂をご利用いただけます。図書館をご利用の際は「受講票」が必要となります。

申込方法

募集期間内にインターネットを利用、もしくは郵送または持参にてお申込みください。

インターネットよりお申込みの場合

※令和6年(2024年)2月22日(木)13時締切

- 申込方法**：Webサイト「地域ラブラトリー」の募集ページに掲載しているお申込みフォームより必要事項をご入力の上、お申込みください。

Webサイト「地域ラブラトリー」→MENU→お知らせ
→授業公開講座受講生募集ページ

<https://puk-loveratory.com/news/14594/>



- 申込確認**：お申込み後、熊本県立大学 生涯学習 (renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp) からEメールを返信します。
お申込みから1週間を過ぎてもEメールが届かない場合は、お申込みが正常に受付されていない可能性がありますので、下記問い合わせ先までご連絡ください。

郵送または持参にてお申込みの場合

※令和6年(2024年)2月22日(木)13時必着

- 申込方法**：パンフレット添付の申込書(17ページ)に必要事項をご記入の上、下記住所に郵送または持参ください。受講申込み1講座につき申込書1枚となります。
複数講座をお申込みの場合は、添付の申込書をコピー、もしくはWebサイト「地域ラブラトリー」の募集ページから申込書をダウンロードしてお使いください。



〒862-8502 (専用郵便番号のため、住所記載不要)

熊本市東区月出3-1-100

熊本県立大学 地域・研究連携センター「授業公開講座」担当 行

- 申込確認**：郵送の場合は郵便到着後、受付確認のお電話をいたします。

お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター

(学内図15番 グローカル棟1階)

TEL：096-321-6612

E-mail：renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp

受付時間

平日(月～金) 9:00～12:20

13:20～16:00

令和6年度授業公開講座時間割

※時間割の変更がある場合があるので、Web「地域ラブラトリー」→MENU→「講座・学び」より確認してください

曜日 時限	月			火			水			木			金		
	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員
1 時限 (8 : 40 ～ 10 : 10)	12	建築環境工学 I	辻原 万規彦	17	社会倫理	江崎 一朗	3	中国語入門B - a	山田 俊	3	中国語入門B - a	山田 俊	4	中国語入門B - b	岡村 真寿美
	25	財務会計 I	小谷 学	15	食資源開発学	松崎 弘美	28	韓国語入門A I・II - c	矢野 初美	29	韓国語入門A I・II - b	矢野 初美	26	ドイツ語発展 I・II	吉田 李佳
2 時限 (10 : 20 ～ 11 : 50)	18	公共政策論 I	井寺 美穂	8	近代日本の歩み	大島 明秀	7	文献学基礎論	鈴木 元	6	方言学基礎論	小川 晋史	27	中国語発展 I・II - b	岡村 真寿美
	22	現代の国際関係	高埜 健	11	エネルギーと社会 (九州電力協力が講座)	古江 敏彦	14	大気環境学	張 代洲	2	英語 V (c)	李 世恩	24	経営分析論	望月 信幸
3 時限 (12 : 50 ～ 14 : 20)	20	都市計画	鄭 一止	1	Junior Seminar B - I	壹嶋 崇	22	住まいと地域環境	柴田 祐(他)	21	比較都市文化論	鄭 一止			
	9	近代文化研究	五島 慶一	23	国際関係論	高埜 健	6	地域文化研究 II	木崎 康弘						
4 時限 (14 : 30 ～ 16 : 00)															
5 時限 (16 : 10 ～ 17 : 40)															

注) 番号は講座一覧講座番号です

令和6年度 授業公開講座一覧（前期）

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選考方法	受講料(円)
英語						
1	Junior Seminar B- I	萱 嶋 崇	4月10日(水)/ 4時限	5名まで	抽選	5,000
2	英語V (c)	李 世 恩	4月12日(金)/ 3時限	4名まで	理由書	5,000
中国語						
3	中国語入門 B-a 【週2回】	山 田 俊	4月11日(木)/ 1時限 4月12日(金)/ 1時限	5名まで	理由書	10,000
4	中国語入門 B-b 【週2回】	岡村 真寿美	4月11日(木)/ 1時限 4月12日(金)/ 1時限	若干名	理由書	10,000
日本語						
5	日本語史 I	米 谷 隆 史	4月8日(月)/ 2時限	5名まで	理由書	5,000
6	方言学基礎論	小 川 晋 史	4月11日(木)/ 3時限	5名まで	理由書	5,000
文学						
7	文献学基礎論	鈴 木 元	4月11日(木)/ 2時限	3名程度	理由書	5,000
8	近代日本の歩み	大 島 明 秀	4月10日(水)/ 3時限	若干名	理由書	5,000
9	近代文化研究	五 島 慶 一	4月8日(月)/ 4時限	若干名	理由書	5,000
10	地域文化研究Ⅱ	木 崎 康 弘	4月11日(木)/ 5時限	3人程度	抽選	5,000
環境						
11	エネルギーと社会 (九州電力協力講座)	古 江 敏 彦	4月10日(水)/ 3時限	若干名	理由書	5,000
12	建築環境工学 I	辻 原 万 規 彦	4月9日(火)/ 1時限	数名程度	理由書	5,000
13	住まいと地域環境	柴 田 祐 (他)	4月8日(月)/ 3時限	若干名	理由書	5,000
14	大気環境学	張 代 洲	4月11日(木)/ 2時限	5名まで	抽選	5,000
15	食資源開発学	松 崎 弘 美	4月10日(水)/ 2時限	5名程度	抽選	5,000
建築						
16	静定構造力学	李 麗	4月12日(金)/ 4時限	3名	理由書	5,000
公共						
17	社会倫理	江 崎 一 朗	4月10日(水)/ 1時限	20名程度	理由書	5,000
18	公共政策論 I	井 寺 美 穂	4月9日(火)/ 2時限	10名	抽選	5,000
19	憲法 I	佐 藤 雄 一 郎	4月12日(金)/ 4時限	10名	理由書	5,000

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選考方法	受講料(円)
都市・地域計画						
20	都市計画	鄭 一 止	4月8日(月)/3時限	3名まで	理由書	5,000
21	比較都市文化論	鄭 一 止	4月12日(金)/3時限	3名まで	理由書	5,000
国際						
22	現代の国際関係	高 埜 健	4月9日(火)/3時限	若干名	理由書	5,000
23	国際関係論	高 埜 健	4月10日(水)/5時限	若干名	理由書	5,000
経済・ビジネス						
24	経営分析論	望 月 信 幸	4月12日(金)/2時限	若干名	理由書	5,000
25	財務会計 I	小 谷 学	4月9日(火)/2時限	若干名	理由書	5,000

令和6年度 授業公開講座一覧(通年)

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選考方法	受講料(円)
ドイツ語						
26	ドイツ語発展 I・II	吉 田 李 佳	4月12日(金)/2時限	若干名	抽選	10,000
中国語						
27	中国語発展 I・II-b	岡 村 真 寿 美	4月12日(金)/2時限	若干名	理由書	10,000
韓国語						
28	韓国語入門 A I・II-c	矢 野 初 美	4月11日(木)/1時限	3名まで	理由書	10,000
29	韓国語入門 A I・II-b	矢 野 初 美	4月12日(金)/1時限	3名まで	理由書	10,000
文学						
30	日中比較文学 I・II	項 青	4月12日(金)/2時限	5名	理由書	10,000

1	Junior Seminar B-I	前期
【講師】	萱嶋 崇	
【日時】	4月10日～・毎週水曜日 4時限目 (14:30～16:00)	
【募集人数】	5名まで	【受講料】 5,000円
【講義内容】	専門	
<p>英文法を習った時、「何故そうしなくてはならないのか」と思ったことはありませんか? "He plays the guitar."の疑問文は "Does he play the guitar." ですが、"does" はどこから来たのか、と思ったことは? 本講義では、英語学の基礎を概観しつつ、文法の「なぜ」を理論的に追究します。</p> <p>※テキスト『英語の主要構文』(2,800円+税)(中村捷、金子義明/編、研究社) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。</p>		
【 授 業 計 画 】		
<p>英語の代名詞に関するルールや、時制解釈にまつわる不思議など、具体的な構文を理論的に考察していきます。必要になる専門的な知識は、都度解説致します。</p>		
【 受 講 条 件 】		
ある程度の文法知識を前提とします。		
【 選 考 方 法 】		
抽選により決定		

3	中国語入門B-a	前期 週2回
【講師】	山田 俊	
【日時】	4月11日～・毎週木・金曜日(週2回) 1時限目 (8:40～10:10)	
【募集人数】	5名まで	【受講料】 10,000円
【講義内容】	初級/一般教養	
<p>中国語(普通話)の初歩をゼロから学びます。</p> <p>※教科書『聞ける、話せる中国語』(2,400円+税)(筒井紀美・王紅艶/編、朝日出版社) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。</p>		
【 授 業 計 画 】		
4月に発音の基礎を学び、5月以降の半期で初級中国語の主要な事柄を学びます。		
【 受 講 条 件 】		
木・金の週2回を連続して出られる方。		
【 選 考 方 法 】		
受講希望の理由書(100文字程度)により決定		
【 オンラインツールについて 】		
講師とEメールでのやりとりをすることがあります。		

2	英語V(c)	前期
【講師】	李 世恩	
【日時】	4月12日～・毎週金曜日 3時限目 (12:50～14:20)	
【募集人数】	4名まで	【受講料】 5,000円
【講義内容】	初級	
<p>この授業では様々な分野の英文を読みながら、受講生が将来必要とされる高度な語彙力及び読解力を身につけ、リーディングを通し幅広い視点から物事を考える能力を養います。基本的な文法の理解と英語を読む力が必要です。</p> <p>※テキストの購入が必要です。受講手続・説明会にてご案内いたします。</p>		
【 授 業 計 画 】		
<p>受講生は英語での読解力の向上を目標とします。定められたテキストを読み、アクティビティーやグループ、ペアリーディングを行います。授業を進めていく中で、課題、予習、復習が必要となります。</p>		
【 選 考 方 法 】		
受講希望の理由書(200字程度)により決定		
【 オンラインツールについて 】		
講師とEメールでのやりとりをすることがあります。		

4	中国語入門B-b	前期 週2回
【講師】	岡村 真寿美	
【日時】	4月11日～・毎週木・金曜日(週2回) 1時限目 (8:40～10:10)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 10,000円
【講義内容】	初級	
<p>初めて中国語を学ぶ人のための講義です。発音・表記について学んだあと、簡単な中国語が書ける・読める・話せる・聴けることを目指します。</p> <p>※テキスト『初級 中国語でおもてなし 改訂版』(2,400円+税)(金星堂) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。</p>		
【 授 業 計 画 】		
教科書を使用して、授業を進めます。		
【 選 考 方 法 】		
受講希望の理由書(100文字程度)により決定		
【 オンラインツールについて 】		
Microsoft Teamsを使用する場合があります。		

5 日本語史I 前期

【講師】	米谷 隆史
【日時】	4月8日～・毎週月曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	

日本語の語彙の歴史について上代以降の文献資料から考えていきます。一つ一つの語の意味や用法の歴史にも言及しますが、それらの総体としての日本語の語彙の歴史を記述するための方策と問題点を学ぶことを重視します。

※テキスト『国語史を学ぶ人のために』(2,900円+税)(木田章義/編、世界思想社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

次のようなテーマを扱います。ただし、受講生の理解度や関心、及び研究の動向により、内容や順序を若干変更することがあります。

- | | |
|-------------|---------------|
| ①語彙研究の位置づけ | ②語種をめぐる諸問題 |
| ③和語の語形と語構成 | ④文体と語彙 |
| ⑤外国資料に見る日本語 | ⑥文献に見える方言語彙 他 |

【受講条件】

本学の「日本語学概論Ⅰ・Ⅱ」、「日本文法Ⅰ・Ⅱ」「現代日本語の分析」、各時代の文学史の内容を理解していることを受講の前提とします。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

6 方言学基礎論 前期

【講師】	小川 晋史
【日時】	4月11日～・毎週木曜日 3時限目(12:50～14:20)
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級/専門

日本各地の方言を取り上げて、その特徴について解説することに多くの時間を割きます。分野としては音声・音韻から形態論や語用論まで広い範囲にわたります。前半は方言の社会的地位など、社会言語学の内容も含まれます。

※テキスト『方言学入門』(1,800円+税)(木部暢子ほか、三省堂)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

- ・方言の違いを知る
- ・ことばの仕組みから見る方言
- ・方言の消滅と誕生
- ・方言を調べる
- ・方言調査の実際
- ・方言の現在
- ・まとめ

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

7 文献学基礎論 前期

【講師】	鈴木 元
【日時】	4月11日～・毎週木曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	3名程度
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

文学研究の基礎資料となる文献資料について、古典テキストを中心に、その取り扱いについていかに常識が通用しないのか、そんな話題を中心にお話しします。また、古典テキストの理解の前提となる書誌学(書物の形態学)についてもふれる予定です。また、くずし字の解読練習を含みます。

【授業計画】

1. 「文学」とは何か
2. 文献学の発生と近代「国文学」の登場
3. 書誌学の基礎
4. 「異本」の発生
5. いかにテキストは作られるか
6. 近代文学のテキストの問題

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

8 近代日本の歩み 前期

【講師】	大島 明秀
【日時】	4月10日～・毎週水曜日 3時限目(12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

歴史を学ぶということは、過去の事例を通じて、現在および未来をどのように構築していくかを考える営為である。日本がいわゆる江戸期の体制から脱却し、日本型オリエンタリズムを獲得しながら「脱亜入欧」を目指した近代(明治以降)の歩みの理解を目標とする一方で、現在の東アジアをめぐる問題の歴史的な根深さを捉え、解決へ取り組む手がかりを模索することも課題としたい。

【授業計画】

「言説」という哲学的概念を理解しながら、前半では、中世末期に始まる日欧交流の端緒、近世日本の国際関係、東西交流の端緒、大航海時代、西洋から見たアジア像の実態と意義を理解する。後半では、かかる前近代の国際的状况を踏まえた上で、日本の近代化について様々な角度から検証する。

【選考方法】

受講希望の理由書(500字)により決定

9 近代文化研究 前期

【講師】 五島 慶一
 【日時】 4月8日～・毎週月曜日
 4時限目 (14:30～16:00)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

後期開講科目である「近代文学史」の続編です。そこで学んだ知識を前提に、それ以後の時代(大正～昭和期)や日本近代文学に関する、より専門的な事項を取り扱います。そのため、**応募は過去に本講義担当者の「近代文学史」を受講したことを条件とします。初めてのの方は、まずそちらを受講してください。**

【授業計画】

基本的にある項目・作家・事項などに関して、それぞれ1～2回ずつの講義を行い、最終的にそれらを通じて、文学史的流れの把握を目指します。各回プリントを配布します。

【受講条件】

過去に本講義担当者の「近代文学史」を受講したことがあること。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定
 ※5～6月に一部、休講(振替)となる日があります。
 初回及びその後の授業内で告知しますので、注意してください。

10 地域文化研究Ⅱ 前期

【講師】 木崎 康弘
 【日時】 4月11日～・毎週木曜日
 5時限目 (16:10～17:40)
 【募集人数】 3名程度 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 一般教養

考古学は、遺跡や遺物などを通して、過去の人びとの暮らしを明らかにする歴史学で、文字が無い時代や僅かだった時代で、最も威力を発揮する。本講義では、そんな考古学研究から、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、古代と時代を追って、肥後の原史世界(原始・古代の世界)を通観したい。本授業を通して、地域の歴史や伝統文化は素晴らしいなど、自らの郷土に目を向ける切っ掛けの一つにしてもらいたい。

【授業計画】

①「肥後」域の考古学②日本最古の石器文化と東アジアの旧石器時代③大型狩猟具の出現と東アジアの旧石器時代④貝塚と土偶と日本列島の縄文時代⑤山の神信仰の起源と縄文文化⑥肥後の縄文文化に見る原始芸術論⑦鬼界火山の大噴火とその影響⑧私の「狗奴国」序章論⑨私の「狗奴国」論⑩装飾古墳の世界⑪環八代海沿岸地域の装飾古墳⑫菊池川流域、装飾古墳の世界⑬肥後の装飾古墳の展開と磐井の乱、⑭古代山城と古代東アジアの政治情勢⑮「鞠智城選地」論

【選考方法】

抽選により決定

11 エネルギーと社会(九州電力協力講座) 前期

【講師】 古江 敏彦
 【日時】 4月10日～・毎週水曜日
 3時限目 (12:50～14:20)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 一般教養

本講義では、「現代社会におけるエネルギー問題は何か?」をテーマとし、電気エネルギーの視点から「安定確保」、「環境適合性」、「経済合理性」、「安全・安心」等の諸問題についてアプローチします。また、電気エネルギーについて発生の仕組みから消費までを学び、生活に欠かせない電気への理解を深めるとともに電気事業の動向についても説明します。

【授業計画】

第1回: エネルギーの中の電気と電気事業
 第2回: 電気料金とエネルギー問題(グループ討議)
 第3回: 電気の発生から消費まで
 第4回: 再生可能エネルギーの現状と課題
 第5回: 現代社会におけるエネルギー問題
 第6回: 日本のエネルギーミックス①(グループ討議)
 第7回: 地球温暖化問題への対応①
 第8回: 電力の安定供給に向けた取組み
 第9回: 地球温暖化問題への対応②
 第10回: 日本のエネルギーミックス②(グループ討議)
 第11回: 原子力発電の仕組みと現状
 (第12回: 設備見学[川内原子力発電所(予定)]※受講できません)
 第13回: 日本のエネルギー政策
 第14回: 今後の日本のエネルギー政策(グループ討議)
 第15回: 講義のまとめ
 ※第12回の設備見学は、受講できません。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

12 建築環境工学Ⅰ 前期

【講師】 辻原 万規彦
 【日時】 4月9日～・毎週火曜日
 1時限目 (8:40～10:10)
 【募集人数】 数名程度 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

建築環境工学のうち、熱環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、ものの方方や考え方も学べることを目指します。理解を深められるようにできるだけ毎回演習問題を出題する予定です。関数電卓が必要です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

※テキスト『図説 やさしい建築環境(第4版2刷 2024年3月発行(「第4版1刷 2022年3月発行」でも可))』(2,800円+税)(今村仁美・田中美都、学芸出版社)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

講義の内容は、建物内外での熱の移動、断熱性能、結露の仕組み、暑さ・寒さの感じ方、太陽の動きと日影、日射の利用などです。

【受講条件】

高校卒業程度の数学、物理の知識が前提です。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用します。

13 住まいと地域環境 前期

【講師】	柴田、高橋、田中、李
【日時】	4月8日～・毎週月曜日 3時限目(12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

現代における住まいと地域環境の基本的問題を正しく理解し、実例を紹介しながら、居住環境創造に役立つ要点を多面的に講義し、住まいと地域環境について考えていく。

【授業計画】

第1回～第4回
住居と生活の歴史について / 都市の町割と住居について / 集まって住む形について(日本編・世界編)
第5回～第8回
「住まいと地域環境Ⅰ」について / 「住まいと地域環境Ⅱ」について / 「人間-環境系のデザイン」について
第9回～第11回
戦後から現在に至る我が国のエネルギー政策と環境問題、将来の課題について
第12回～第15回
構造設計の目標、荷重・外力、構造システムについて / 構造種類、構造材料について / 地震被害、耐震構造、制振構造、免震構造について

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

14 大気環境学 前期

【講師】	張 代洲
【日時】	4月11日～・毎週木曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

気象学、大気汚染、気候変動などに関する基礎知識と現在の理解について幅広く解説します。

【授業計画】

1. 大気の歴史・構造・組成
2. 大気の流れ
3. 気象の力学1
4. 気象の力学2
5. 大気中の汚染物質
6. 大気中の浮遊粒子
7. 対流圏化学
8. 成層圏化学
9. 大気中の拡散
10. 雲の物理学
11. 雲の化学
12. 大気中の放射
13. 大気と海洋
14. 気候: 現在までの記録と理解
15. これからの気候変動とまとめ

【選考方法】

抽選により決定

15 食資源開発学 前期

【講師】	松崎 弘美
【日時】	4月10日～・毎週水曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	5名程度
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

食品は単に栄養素を供給するものではなく、最近では保健機能(健康機能)が求められる。そこで、健康を支える食資源、健康を促進し保健機能を持つ新規機能性物質(特定保健用食品・機能性表示食品)、環境にやさしい農業生産のあり方、新しいバイオ技術(遺伝子組換え、細胞融合、ゲノム編集など)について紹介・説明・解説する。

【授業計画】

新たな食資源の開発(植物・動物)、新規機能性物質と保健機能食品、腸内細菌叢と健康を守る乳酸菌、食料生産と環境(環境保全型農業と新しい農業技術)、食資源としてのバイオテクノロジー、食とバイオサイエンス(バイオテクノロジー技術の紹介)などを講義する。

【選考方法】

抽選により決定

16 静定構造力学 前期

【講師】	李 麗
【日時】	4月12日～・毎週金曜日 4時限目(14:30～16:00)
【募集人数】	3名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

本科目では、建築構造力学の基本的事項を学ぶ。力(荷重)、反力、応力を理解し、静定構造物(静定梁・ラーメン構造・トラス構造)の反力、応力の求め方および応力図の描き方、断面諸係数、応力度の求め方を学習する。

【授業計画】

- ・力の定義・種類・合力・分力・釣合
- ・構造物の種類および構造物の安定・不安定、静定・不静定の判定
- ・断面の諸係数、応力度・ひずみ度・弾性座屈荷重など
- ・各種静定梁・各種静定ラーメン・静定トラスの反力・応力の求め方、応力図の描き方

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

17 社会倫理 前期

【講師】 江崎 一郎
 【日時】 4月10日～・毎週水曜日
 1時限目 (8:40～10:10)
 【募集人数】 20名程度 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 一般教養

テーマ「私たちはいかに生きるべきか」
 私たちは一体、何のために生きているのか。生きる目的は何なのか。人生の意義はどこにあるのか。私たちにとって、これ以上に重要なことはありません。すべては、ここから始まります。これなしには、人生を生き抜くことはできません。多くの人々が、最期を迎えるに際し、後悔します、あれをやるべきであったと、あるいは何のために生まれてきたのかと。私たちは、何をなすべきでしょうか。それは、自らの人生を正面から受け止めることから始まります。共に考えましょう。

※テキスト『増補新装版・共生の作法－会話としての正義－』(3,000円＋税) (井上達夫/著、勁草書房)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

上記テキストを読み通すことで、私たちはいかに生きるべきかを考えます。講義では、正義とは何か、エゴイズムとは何か、愛とは何か、なども取り上げる予定です。よりよい人生にするために、共に学びましょう。

【選考方法】

受講希望の理由書 (50文字程度) により決定

19 憲法 I 前期

【講師】 佐藤 雄一郎
 【日時】 4月12日～・毎週金曜日
 4時限目 (14:30～16:00)
 【募集人数】 10名 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

日本国憲法が保障する権利・自由について、裁判所がどのような判断を下しているか、という点について、詳細に説明し、わが国の人権保障の現状と問題点を理解できるようにする講義である。

【授業計画】

身体的自由、思想・良心の自由、信教の自由と政教分離、表現の自由①～④、経済的自由①②、社会権・参政権、法の下での平等、幸福追求権に関する判例について、詳細に分析した上で説明していく。

【選考方法】

受講希望の理由書 (400字程度) により決定

18 公共政策論 I 前期

【講師】 井寺 美穂
 【日時】 4月9日～・毎週火曜日
 2時限目 (10:20～11:50)
 【募集人数】 10名 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

本科目では、公共政策のなかでも、特に「政府政策」(＝公共的な諸問題を解決するために、様々なアクターが関与しながら策定される中央および地方の活動案)の形成過程に焦点をあてます。政府政策が法律や条例として形成されるプロセスに着目し、アクター間の相互作用や諸制度などについて学びます。

【授業計画】

政府政策の分析視角となりうる理論的枠組みを学習した上で(第2回～第7回)、政府政策の形成過程を「省庁」、「政府」、「与党」、「国会」という観点から概観します。

【選考方法】

抽選により決定

20 都市計画 前期

【講師】 鄭 一止
 【日時】 4月8日～・毎週月曜日
 3時限目 (12:50～14:20)
 【募集人数】 3名まで 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

都市計画史、都市計画制度の変遷と現状などについて説明します。熊本をはじめ、なるべく地域での例を具体的に取り上げるつもりではあります。教科書として『初めて学ぶ 都市計画 (第二版)』を使用していますので、一度中身を見ると、授業内容が少しは伝わるかもしれません。

※テキスト『みんなの都市計画』(3,000円＋税) (脇田祥尚著、理工図書)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

座学がほとんどです。60-80分座学、残りの時間でコメントに対する振り返りをします。都市の定義、区域区分や用途地域など基本的な都市計画制度、コンパクトシティや都市再生という最近の方向性などについて紹介します。※授業計画は予定のため、変更になる場合があります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

【オンラインツールについて】

Eメールでのやりとりや Microsoft Teams を使用する場合があります。

21 比較都市文化論 前期

【講師】 鄭 一止

【日時】 4月12日～・毎週金曜日
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人数】 3名まで 【受講料】 5,000円

【講義内容】 初級

参加型ワークショップ式です。自分のまちに楽しくかかわっていく際のきっかけ、方法などを一緒に考えていきます。自分の好きな分野から深堀もしくは横つながりしていく予定です。

※テキスト『はじめてのまちづくり学』(2,700円+税)
(山崎義人、清野隆、柏崎梢、野田満/著、学芸出版社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

主にグループディスカッションで進めていきます。まず、自分の趣味や普段の生活をシェアしてもらった上で、まちづくりにつながっていくヒント(場所、人、取り組みなど)をフィードバックしながら、最終的にはまちづくりの事業計画をつくりあげ、みんなの前でシェアすることを最終ゴールとしています。

※授業計画は予定のため、変更になる場合があります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【オンラインツールについて】

EメールでのやりとりやMicrosoft Teamsを使用する場合があります。

22 現代の国際関係 前期

【講師】 高埜 健

【日時】 4月9日～・毎週火曜日
3時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

戦後日本をめぐる国際関係の変動を食料、エネルギー、金融等身近な話題から、近い将来に予測される多文化社会の到来、といった問題にまで広げて講義します。

【授業計画】

プラザ合意、バブル経済とその崩壊/エネルギー小国日本/多文化共生社会/日本の国際貢献/フードロス、食をめぐる国際関係等。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

23 国際関係論 前期

【講師】 高埜 健

【日時】 4月10日～・毎週水曜日
5時限目 (16:10～17:40)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

資料はほぼ全て英語のものを使用します(留学生対応も含めて)。講義内容は、国際関係理論に関する詳細な説明です。一部、ウクライナやパレスチナ情勢等時事的な問題についても解説する予定です。

【授業計画】

ウクライナ情勢～パレスチナ情勢/戦争はなぜなくなるのか/トウキディデスの罫/現実主義/自由主義/コンストラクティヴィズム/中江兆民『三酔人経綸問答』他。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

【注意事項】

一部、英語で講義を行います。

24 経営分析論 前期

【講師】 望月 信幸

【日時】 4月12日～・毎週金曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講義では、ファイブフォース分析やSWOT分析、財務諸表などを通じた企業の経営分析について講義する。具体的には、企業が作成する貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などを用いて、企業の経営状態を把握するための評価ツールとその利用方法について学習する。また、財務諸表だけではわからない企業の経営状況について、ファイブフォース分析やSWOT分析などを用いて学習する。

【授業計画】

- ・財務諸表を用いた分析
(安定性・収益性・成長性)
- ・環境分析
(ファイブフォース分析、SWOT分析)

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用する場合があります。

25 財務会計 I 前期

【講師】 小谷 学
 【日時】 4月9日～・毎週火曜日
 2時限目 (10:20～11:50)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

この講義では、利益計算を行うために企業会計で採用されている基本的な考え方について、具体的な簿記の手続きと結び付けながら学習する。あわせて、簿記の手続きに従って報告される情報が企業の利害関係者に対してどのような影響を与えているか、という点についても考察する。

※テキスト『はじめて出会う会計学 [第3版]』(2,100円+税)(川本淳ほか/著、有斐閣)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【 授 業 計 画 】

- ・会計の目的
- ・会計基準と会計制度
- ・複式簿記
- ・収支の期間配分
- ・利益の認識と測定
- ・資産・負債の認識・測定
- ・原価計算と管理会計、まとめ

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

26 ドイツ語発展 I・II 通年

【講師】 吉田 李佳
 【日時】 4月12日～・毎週金曜日
 2時限目 (10:20～11:50)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 10,000円
 【講義内容】 中級

初級ドイツ語の能力を有することを前提に、ドイツ語に慣れ親しみ、ある程度コミュニケーションができるようになることを目指して、会話中心の授業を行う。

※テキスト『Spitze!2』(2,700円+税) (新倉真矢子ほか/著、朝日出版社)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【 授 業 計 画 】

朝日出版社の『Spitze!2』をテキストとして、通年で12課全体を終えるペースで授業を進める。

【 選 考 方 法 】

抽選により決定

27 中国語発展 I・II-b 通年

【講師】 岡村 真寿美
 【日時】 4月12日～・毎週金曜日
 2時限目 (10:20～11:50)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 10,000円
 【講義内容】 準中級

中国語を1年程度学んだ人を対象とします。一応勉強したけれど、まだ十分使えるようになっていないのがこの時期なので、初級で学んだことを復習しつつ、さらにレベルを上げることを目指します。

※テキスト『音読 & 会話で深める中国語 中級アイテム15』(2,500円+税) (朝日出版社)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【 授 業 計 画 】

教科書を使用して、授業を進めます。

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書 (100文字程度) により決定

【 オンラインツールについて 】

Microsoft Teams を使用する場合があります。

28 韓国語入門A I・II - c 通年

【講師】 矢野 初美

【日時】 4月11日～・毎週木曜日
1時限目 (8:40～10:10)

【募集人数】 3名まで 【受講料】 10,000円

【講義内容】 初級

初めて韓国語を学ぶ人を対象に、韓国語の文字であるハングルの読み書きや簡単な文法について解説します。

※テキスト『マル韓国語』(2,200円+税)(韓必南/全恵子、朝日出版社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

4月、5月はハングルの読み書きの練習をします。6月からは簡単な短文を読んだり、書いたりする練習をします。予習、復習が必要です。家で学習して解らない点を授業で解るようにするつもりで臨んでください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【注意事項】

講座番号: 29『韓国語入門A I・II - b』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

29 韓国語入門A I・II - b 通年

【講師】 矢野 初美

【日時】 4月12日～・毎週金曜日
1時限目 (8:40～10:10)

【募集人数】 3名まで 【受講料】 10,000円

【講義内容】 初級

初めて韓国語を学ぶ人を対象に、韓国語の文字であるハングルの読み書きや簡単な文法について解説します。

※テキスト『マル韓国語』(2,200円+税)(韓必南/全恵子、朝日出版社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

4月、5月はハングルの読み書きの練習をします。6月からは簡単な短文を読んだり、書いたりする練習をします。予習、復習が必要です。家で学習して解らない点を授業で解るようにするつもりで臨んでください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【注意事項】

講座番号: 28『韓国語入門A I・II - c』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

30 日中比較文学 I・II 通年

【講師】 項 青

【日時】 4月12日～・毎週金曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 5名 【受講料】 10,000円

【講義内容】 専門

中国・日本・朝鮮半島・東南アジア諸国などアジア漢字圏の天人女房の話を紹介しつつ、世界各地の羽衣伝説も取り上げます。中国儒教の影響を受け、親孝行の思想を取り入れた東アジアの伝説と、インド仏教の影響を受け、鳥が女性に変身する東南アジアの伝説の異同を考察します。古文や漢文を読むことが多いため、ある程度の知識が求められます。

【授業計画】

世界各地の羽衣伝説を読む
①日本古代の羽衣伝説
②中国古代の羽衣伝説
③朝鮮半島の羽衣伝説
④東南アジアの羽衣伝説
⑤インドの羽衣伝説

【選考方法】

受講希望の理由書(300文字程度)により決定

県大と地域をつなぐwebサイト

／ 新しい情報を更新中 ／

授業以外の大学の活動を紹介しています。
あなたの、地域の「さがしもの」が見つかるかもしれません。

発見したい

学び足したい

熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

地域ラブラトリー
Kumamoto

熊本の“お役に立ちたい”研究室です。

研究したい

作りた

立案したい

学び直したい

事業化したい

<https://puk-loveratory.com>

地域ラブラトリー

〈 申込みにあたっての注意事項 〉

- 1 本申込書は1枚1講座分でご記入ください。複数講座お申込みされる場合は、講座毎に申込書をご記入ください。この場合、2講座目以降の申込書は「氏名」、「申込枚数」、「合計講座数」、「受講希望講座」欄の記入のみで構いません。
- 2 「理由書」により受講者選定を行う講座は、指定の文字数を確認のうえ、希望理由を記入してください。なお、枠内に入りきらない場合は、別紙（様式任意）に記入し、申込書に添付して提出ください。
- 3 開講する曜日と時限が同じである講座を、重複して申し込むことはできません。
- 4 募集締切後の講座のお申し込み、変更は一切お受けできません。
- 5 決定通知後の取り消しは、お受けできません。
- 6 受講料は、受講手続・説明会にご参加いただき、現金でお支払いいただきます。また、お支払いいただいた受講料は返金いたしませんので、あらかじめご了承ください。（本学都合の場合は除く）
- 7 学生の受講が少ないなどの理由により開講中止となる場合があります。その場合は、お支払いいただいた受講料は返金いたします。
- 8 お申込みの際にご提供いただいた個人情報については、個人情報の保護に関する法律に基づいて適正に管理を行います。

施設紹介

講座で学んだ内容をさらに深めるために、キャンパス内の施設がサポートします。



① 図書館

専門書を中心に約 38 万冊の図書・雑誌を収蔵しており、自由に利用することができます。また、1～3 階の開架書庫・閲覧スペースには 360 の閲覧席を設けており、ゆとりをもって快適に学習できる環境を提供しています。

そのほか、1 階に国内外の主要紙を配置した新聞コーナー、学術雑誌を閲覧できる雑誌コーナーなども設けています。

館内の図書は、各階に備えている専門の端末機で検索することができます。

開館時間 平日 8:40～21:40 (夏季休業日 8:40～20:40)

土曜日 8:40～19:00 (夏季休業日 8:40～18:00)

休館日 日曜・祝日・開学記念日・年末年始

(その他臨時休館日等は本学図書館ホームページでお知らせします)

② 熊本県立大学アーカイブ (図書館 2 階)

学内外の方々に幅広く熊本県立大学への理解・関心を深めていただく趣旨で、所司代当時の学術資料、写真、看板等を常時展示し、図書館を訪れる方々にご紹介しています。



学生食堂 (大学会館内)

カフェテリアスタイルで、ガラス張りの吹き抜けになっている明るい学食です。

人気メニューは、日替わりのランチやカレーです。
(11:00～13:45 ごろ)

書店・売店 (大学会館 2 階)

授業で使用するテキストや書籍、文具、事務用品の販売はもちろん、有料のコピー機なども設置しています。





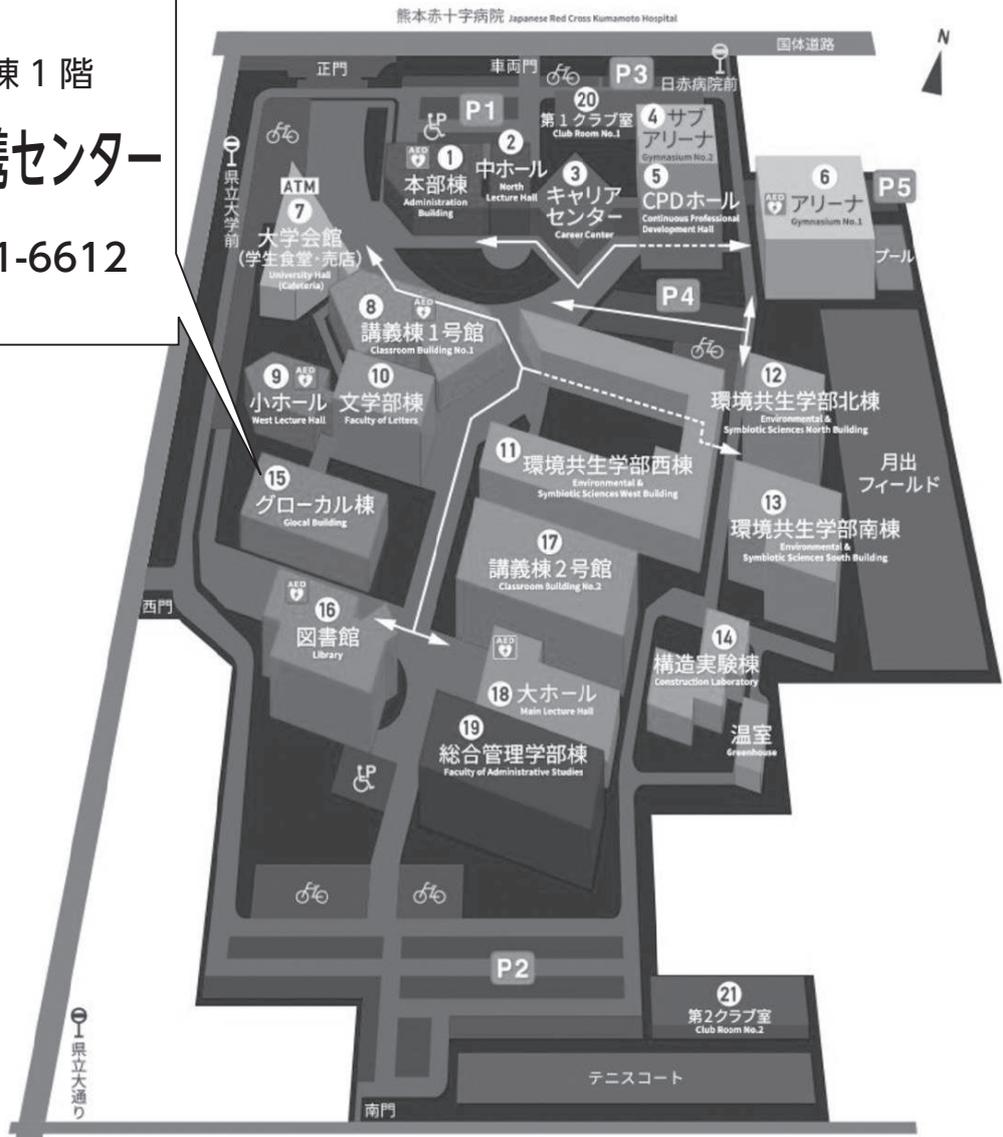
地域・研究連携センターについて

熊本県立大学では、平成 18 年度の独立行政法人化にあわせ、地域との連携をより強化し、地域貢献の取り組みを充実していくことを目的として、地域・研究連携センターを設置しています。

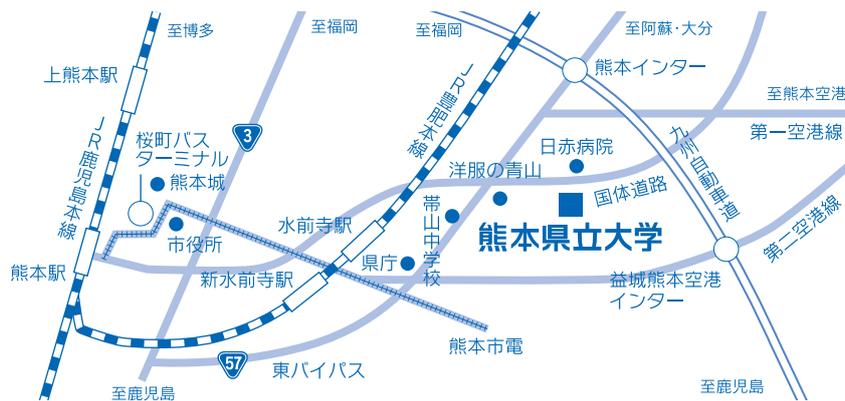
地域・研究連携センターは、本学の教育研究資源を地域に繋ぐコーディネート機能や、授業公開講座・各種公開講座の開催や、職業人の学び直しとして、CPD プログラム (Continuing Professional Development 継続的専門職能開発) など大学ならではの学びの場を地域に提供する役割を担うとともに、大学の研究力の向上に務め、「地域とともに生きる」熊本県立大学の地域貢献を推進します。

グローバル棟 1 階
地域・研究連携センター
 Tel 096-321-6612

学内配置図



熊本県立大学への交通アクセス



バス利用

桜町バスターミナルから

15番のりば ●都市バス「長嶺小学校」行、「免許センター」行（[G1-4]、[G1-5]表示）
「日赤病院前」バス停下車（約30分）。そこから徒歩1分

26番のりば ●都市バス「日赤病院・長嶺団地」行（[H1-1]、[H2-1]、[H3-1]表示）
「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車（約40分）。そこから徒歩1分

JR熊本駅方面から

●バスにより桜町バスターミナル下車（約10分）
●市電により辛島町電停下車（約10分）、その後桜町バスターミナルまで徒歩約2分

JR新水前寺駅方面「水前寺駅通り」バス停（スーパーマーケット前）から

●都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車（[H2-1]、[H3-1]表示）
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車（約20分）。そこから徒歩1分

JR水前寺駅方面南口「水前寺駅前」バス停から

●都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車（[H2-1]表示）
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車（約20分）。そこから徒歩1分

JR水前寺駅方面北口「熊高正門前」バス停から

●都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車（[H1-1]、[H4-1]表示）
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車（約20分）。そこから徒歩1分

熊本県立大学

マイカー・タクシー利用

熊本ICから 約15分（約4.3km）

益城熊本空港ICから 約10分（約4km）

JR熊本駅から 約25分（約8.2km）

JR水前寺駅から 約25分（約8.2km）



お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター（グローバル棟1階）
〒862-8502 熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL.096(321)6612
E-Mail renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp

